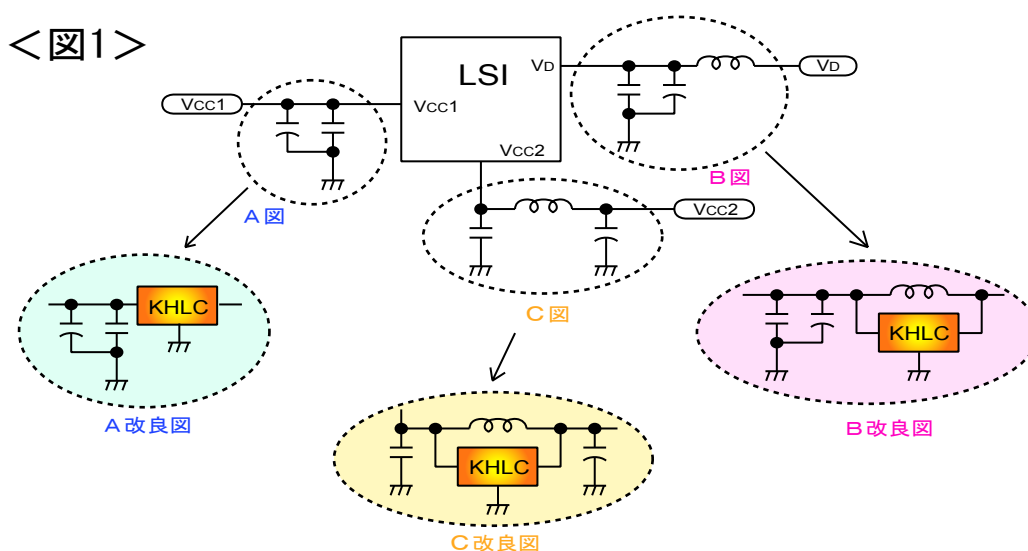


KRFM パワフィルタを使うと EMI/EMC対策は、簡単。

- あなたは、実装された回路基板のEMI測定結果に満足していますか？
- あなたは、InductorやCapacitorだけでEMC対策しようとしていませんか？
- あなたは、電気回路の理論(理屈)で電磁気を止めようとしていませんか？
- あなたは、対策部品の選定や回路設計に手間をかけすぎていませんか？

あなたが設計しようとするPCB(Printed Circuit Boards)回路図の中のICやLSIといった半導体(Semiconductor)の周りに、<図1>の点線で囲まれたような電源のフィルタ回路(BIAS Filter Circuits)がありますね…。

これらのInductorやCapacitor回路を下側にある各々の改良図のように変更して下さい。



基板ができあがって部品を実装(Mount)する時点で、<図1>のように**パワフィルタ**の無い元のA図、B図、C図のままの実装基板と、もう一枚はInductorやCapacitorを実装しない<図2>の**Aパワフィルタ図**、**Bパワフィルタ図**、**Cパワフィルタ図**の回路になるよう実装した基板を作り、各々の**EMI**データを比較して下さい。**パワフィルタ**の効果が解ります。

